

例会報告

第2673回例会報告議事録

日時 令和4年6月21日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それこそロータリー」

ゲスト：2790地区 第13グループ 松戸東RC

パストガバナー 得居仁様

ビジター：なし

S.A.A.：米田会員

会長挨拶

依田会長



本日はパストガバナーの得居仁様、我孫子クラブの例会へようこそおいでくださいました。ありがとうございます。

今日でラストの通常例会となります。四つのテストで緊張してしまいました。話しばなしだとつまらない感じがしたのですが、声を返していただくといいですね。

ウクライナ侵略から4ヶ月たちます。早く収束することを願うばかりです。国際ロータリーは100トンを超える大量の医療物資をシカゴからヨーロッパに運んでいるそうです。ロータリアンの仲間が集まればできないことはないとのこと。

必要な物資を集めて送っているそうです。シカゴクラブは救急車を1台、米国メイン州の会員はCアームという爆弾金属片をX線で見える装置を送っているそうです。ウクライナ国内のロータリアンが物資を届けているそうです。

遠い国で起こっていると思いがちですが、隣国のロシアが起こしていることです。決して他人事ではありません。今後もウクライナ支援を少しでもしていきたいと思っておりますので、募金の方をよろしくお願いいたします。

本日卓話をお願いしております得居パストガバナーですが、実は青年会議所時代の友人のお父様です。私が開業する時に顧問をしていただき、事務所を伺った時にいろいろな話をさせていただきました。経営者側に立った正義の弁護士先生だなと感じました。ロータリーでガバナーをされていて驚きました。本年度最後の通常例会ですので、是非来ていただきたいと思い卓話をお願いしました。

日曜日に調子が悪く病院に行ったのですが、CT、血液検査、尿検査クリアしましたので大丈夫でした。足が痛くて病院内で車椅子を借りたのですが、その車椅子の横に松戸東RC寄贈と書いてあり、素晴らしい活動をされているとつくづく思いました。我孫子もこういった所の寄贈も積極的にやりたいと思いました。

親睦委員会報告

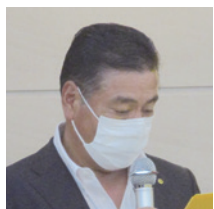
上村英生委員長



私の仕事も今週、来週で最後となりました。どうぞ皆様ニコニコの記入をよろしくお願いいたします。

出席委員会報告

日暮委員長



27名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率84.37%
業務による欠席：荒井会員、関根会員、仲江会員、福武会員、湯下会員
ZOOMによる出席：古谷野会員、塩毛会員、前田会員



呂君が2月23日が誕生日で、3日前にホンちゃんとテイちゃんと家内とかじ池亭に行って5人で食事をしました。

新旧交代式に学生の皆さんを招待するのは前例がありませんでしたが、会長に相談したところ、いいねとおっしゃっていただきましたので、米山を卒業してもつながっていったらというのが私の希望でもありますので、皆さんと良い交わりになればと思っています。

幹事報告

柳田幹事



来週の新旧交代式は、ご案内では4階とご案内してしまったのですが、通常通り3階のバルコニーのある会場になりました。お間違えのないようお願いいたします。

卓話

2790地区 第13グループ 松戸東RC パストガバナー 得居仁様



ガバナーで公式訪問した時に我孫子クラブがハワイのアラモアナクラブと姉妹クラブだとお聞きし、ガバナーになった年にアメリカに派遣する子供の行き先が決まっておらず困った時に丸田さんにすぐお電話をし、アラモアナにお願いするかもしれませんのでその時はよろしくとお話ししたら快諾いただけたことを思い出しました。懐かしい思い出です。

私の娘婿、息子も皆様が大変お世話になっております。我孫子はわたしにとって縁の近いところです。卓話は2回目です。つまらない話になるかと思いますが、よろしく願いいたします。

2002年の4月10日～14日にかけて、シカゴのハイアットリージェンシー ホテルで開催された2022年規定審議会に2790地区代表議員として参加してまいりました。

規定審議会は3年ごとに原則対面式で開催され次回は2025年です。その間1年毎にオンラインによって決議審議会が開催されます。

国際ロータリー定款第10条第1節にありますように規定審議会というのは国際ロータリーの唯一の立法機関です。

地区の代表委員というのはガバナー就任順に選任されます。辞退すると繰り越されます。今回、辞退者が何名か出て、私の番になりました。

今回の規定審議会はインパーソン(対面)とバーチャル(オンライン)併用のハイブリッドで開催されました。日本からは対目9名、オンライン25名の参加で、26対74の割合で対面の参加者が少なかったのですが、世界全体では62対38の割合で対面での参加の方が多かったです。

規定審議会の内容を写真でご説明いたします。

規定審議会で使った赤緑黄の札を持って帰りました。

赤札は反対意見、緑札は賛成意見、黄色札は動議に関する提案、しましまは動議打ち切り用です。

投票結果はただちに正面の画面に出ます。

ウクライナの代表議員が紹介され、ほとんどの代表議員がスタンディングオベーションで歓迎していました。

コロナ感染対策は万全でした。会場の隣にPCR検査コーナーが毎朝7時から夜9時まで解説され、いつでも検査が受けられました。名札にチップが貼られていて感染者と接触したらメール連絡が来るようになっていました。

4月14日の会議中に感染者と接触したとメール連絡がきました。前日、フランスの代表議員と昼食時に20分ほど話をしました。フランスの会員減少に歯止めがかかっていなく、若い人達に入会をすすめていると話していました。

このメールを見て私はパニックになりました。すぐに検査を受けたところ陰性で予定通り日本に帰ることができました。

今回の規定審議会の最大の問題は制定案22の71です。RIDIとオーストラリア、ニュージーランドで地区とガバナー制度をなくす組織をこの2地区で試みる、というものです。採択されました。

1915年にサンフランシスコ大会で採択された国際ロータリークラブ連合会定款によって、ロータリーを地区と呼ばれる10の地理的単位に分けました。地区ガバナーが作り出されました。

100年以上続いたガバナー制度、地区制度を試験的パイロット地区での試みだけで廃止して良いのでしょうか。広く意見を集めて慎重に検討すべき重要な問題だと思います。

最終日4月14日の会議は午前で終了しました。午後のあいた時間にポールハリスのお墓と住んでいた家を尋ねるバスツアーに参加しました。60名程度が参加し、内、日本人は4名でした。

墓苑の入り口の門柱の左側にライオンズ、右側にロータリーのエンブレムが掲示されていました。一瞬あれ?と思ったのですが、ライオンズの創立者がロータリーの創立者と同じ墓苑に葬られているという話を思い出しました。

ロータリーの始まりについてお話しします。

1896年にシカゴで弁護士を開業したポール・ハリスは仕事が軌道に乗った後も、知り合いはできたが本当の友人はできずに寂しかったそうです。大都会シカゴで政治や宗教の立場を離れてお互いにおおらかに認め合えるような人を集めて親睦団体を作れば助け合えると考えました。

1905年2月23日の夜にガスターバス・ローアの事務所に集まり、その日をロータリー創立の日としています。

各職業もしくは業種で一人の会員を推薦するとし、会員が人柄の誠実さを保証できるような人物だけを推薦することとしました。

2回目の会合はポール・ハリスの事務所で、3回目の会合はシルベスター・シールの事務所で16名が参加し議事をし決定を行った最初の会合で、この会合をロータリークラブと決め、初代会長にシルベスター・シールを選出しました。

1905年のある秋の夜、一時的に静寂が訪れた時、当時流行っていた歌を歌い、以来、例会での合唱はロータリーでの伝統となりました。

1906年1月に採択されたシカゴロータリークラブの定款は次の通りです。

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

1906年4月にフレデリック・トゥイードが弁護士ドナルド・カーターに入会を勧誘しました。シカゴロータリークラブの定款に目を通したカーターは「こういうクラブは会員以外の人の役に立つようなことができれば将来性があると思う。クラブは何か公共の奉仕をするべきだと思う」と一旦は入会を断りました。

その後、フレデリック・トゥイードに定款を改定できると言われ、カーターは1906年5月に入会しました。

1907年に加えられた第3の綱領は次の通りです。

3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める

これがロータリー史における大転換期となりました。ロータリーが奉仕へ踏み出した第一歩です。

創立わずか5年後の1910年に全米ロータリークラブ連合会を開催しました。16クラブが設立されていました。当時の交通や通信の事情を考えると驚異的なスピードだと思います。会員相互の互惠取引が最大の魅力だと言われています。

お別れ晩餐会でアーサー・フレデリック・シェルドンが「最もよく奉仕する者が最も多く報いら

れる」と言い、それがロータリーの標語となりました。

ポール・ハリスが42歳の時にスコットランド人のジーンと知り合い結婚しました。その家を訪ねてきました。

1912年8月にミネソタ州で全米ロータリークラブ連合会を国際ロータリークラブ連合会へと名称変更しました。米国、カナダ、アイルランド、英国に46クラブが成立していました。

会員同士で信頼のできる取引をするという倫理性は仲間以外にも行われるようになり、ロータリーに職業奉仕概念が確立していきます。

1923年のセントルイス大会で決議23-34が成立しました。ロータリーは基本的にはひとつの人生哲学であり、超我の奉仕の哲学であり、最もよく奉仕する者が最も多く報いられるという実践的倫理に基づきます。

ロータリーがよくわからない、ロータリーとは何なのか悩むことがあったら、この決議23-34を繰り返し読みこんでみてください。答えが得られると思います。

1927年に、ロータリーの奉仕活動をクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕の3つに分類しました。

翌1928年に国際奉仕が加えられ、4大奉仕として進んできました。

(スライドを見ながら)

ポール・ハリスのお墓です。初代会長シルベスター・シールのお墓です。

ポール・ハリスの旧宅です。旧宅の内部です。

旧宅内のポール・ハリス夫妻の写真です。

会合の写真です。

ポール・ハリスは幼い頃、ニューイングランドに住む祖父母に預けられて育てられました。その祖父母の信条は「誠実、質素、勤勉、寛容、無私」であり、ポール・ハリスは2人から多くのものを受け継いだと言っています。伝統的で円満な家庭で支えられ引き継がれる家庭の価値観、正直、誠実、勤勉等の価値観を崇敬するように成長していったそうです。それがロータリーの根底にあるとポール・ハリスは言っています。

ロータリーの創立やポール・ハリス、ロータリーの歴史についてほんの少しお話をしました。ロータリーとは何かを理解する手がかりになればと思います。ご静聴ありがとうございました。

Q:ゾーンの変更についてのお話を聞かせていただけますか。

A:RIは世界を34のゾーンに分けると言っています。会員が減って減ってしょうがないのですが、なぜ今の形にするのか説明がありません。RIは今までいろいろやっています。柔軟性という名の下にDLP、CLPをやってみたり、1業種1名をやめたりしています。でも会員は増えません。減ってる理由が何かを考えずに、ロータリアンではないRIの職員が次から次へとアイデアを出していますが、反省がないから何をやっても駄目なんだと思います。

一番の問題は地区をなくすということです。日本のように東西に長くて気候風土も歴史も違うものをひとまとめにすれば、それぞれのクラブの特殊性等、独自の良い所は消えてしまうだろうと。34に割ってRIが決めた事をその通りやれ、というのがSRFなのだろうと思います。やはりものすごく反対がありました。

日本からは、譲れるものと譲れないものがある、地区とガバナーをなくすことは譲れないと辰野RI理事が提案されました。

RIは会員が増えることはあきらめ、RI本部の職員800人をどう食べさせていくか、SRFによって大幅に経費節減するということが彼らが目指している所なのではないかと私は考えています。



閉会の点鐘

依田会長

来週は最終例会ということになります。できましたら歌と4つのテストをマスクをしながらやりたいなと思っております。

例会を終了いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
松戸東RC パストガバナー 得居仁様	今年一年、会員の皆様の多くの寄付ありがとうございました。	5,000円
依田会長	得居仁パストガバナー 規定審議会の貴重なお話ありがとうございました。	1,000円
柳田幹事	得居パストガバナーありがとうございました。	1,000円
小野会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
上村英生会員	得居様ありがとうございました。	1,000円
上村文明会員	得居PG規定審議会参加の卓話有りがありがとうございました。	1,000円
木村会員	今期最後の例会でした。依田会長、柳田幹事、一年間御苦労様でした。得居パストガバナー様 卓話有難うございました。	1,000円
小池会員	得居パストガバナー卓話ありがとうございます。	1,000円
佐藤会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	得居パストガバナーお話ありがとうございます。	1,000円
瀧日会員	得居パストガバナー卓話をありがとうございました。	1,000円
寺井会員	最後の通常例会、依田会長、おつかれさまでした。得居様ありがとうございました。	2000円
野田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	得居PG様 卓話ありがとうございました。	1,000円
日暮会員	得居パストガバナー卓話ありがとうございます。	1,000円
藤本会員	得居先生ありがとうございました。	1,000円
村越会員	得居PG 卓話ありがとうございました。	1,000円
米田会員	得居パストガバナー卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		23,000円
今期累計		508,559円

寄付用

ウクライナ、トンガ王国支援金

今期累計 81,000円

今週の表紙「志賀直哉邸跡」千葉県我孫子市緑2丁目7番

白樺派の文豪、志賀直哉が8年間暮らしていた邸宅の跡です。志賀は大正4年（1915年）に友人の柳宗悦が住む我孫子に移住し、大正12年（1923年）までここで過ごしました。「城の崎にて」「和解」「小僧の神様」「暗夜行路」等の名作はここで生まれました。

現在は茶室風の書齋が残るのみですが、すぐ隣に母屋の間取り図が実寸大に再現されています。平成23年に我孫子市の指定文化財になりました。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。